

# 趣旨説明・インフラ自分ごと検討会の経緯

早稲田大学 創造理工学部社会環境工学科 佐々木葉

2025・01・28 八潮市での道路陥没事故発生

2025・02・26

# 下水道に起因する道路陥没事故をうけての 土木学会会長から会員の皆さんへのメッセージ

The screenshot shows the website of the JSCE Special Committee. The main content is a video message from the 112nd President, Tatemura Aki, titled "下水道に起因する道路陥没事故をうけての土木学会会長から会員の皆さんへのメッセージ". The video player shows the president speaking, with a progress bar at 0:11 / 6:40. Below the video, there is a link to the English page and a summary of the message.

**土木学会 会長特別委員会**

委員会サイトホーム 土木学会ホーム

会長特別委員会メニュー

- ホーム
- 会長特別委員会
  - 令和6年度会長
  - 令和5年度会長特別委員会
    - 2023年度会長プロジェクト 土木の魅力向上特別委員会
  - 令和4年度会長特別委員会
    - 土木グローバル化総合委員会
    - 土木工学における学術研究活動の国際化ビジョン検討小委員会
    - 土木技術者の国際化実践小委員会
    - 国際展開プロジェクト形成検討小委員会
  - 令和3年度会長特別委員会
  - 令和2年度会長特別委員会
  - 令和元年度会長特別委員会 インフラメンテナンス（鉄道）特別委員会
  - 平成30年度会長 情報発信プロジェクト
  - 平成29年度会長特別委員会
    - 安寧の公共学 懇談会
    - レジリエンスの確保に関する技術検討委員会
    - 国土・土木とAI 懇談会
  - 平成28年度会長特別TF 現場イノベーションプロジェクト
    - 土木現場でのICT・ロボット技術 動画サイト
  - 平成21年度会長特別委員会
  - 平成20年度会長特別委員会
  - 平成19年度会長特別委員会
  - 平成18年度会長特別委員会

下水道に起因する道路陥没事故をうけての土木学会会長から会員の皆さんへのメッセージ

投稿者：公益社団法人土木学会 投稿日時：水、2025-02-26 11:00

📧 ポスト

第112代土木学会会長 佐々木 葉

Link to the English page .

第112代土木学会会長 佐々木葉（ささき・よう）は、埼玉県において発生した下水道に起因する道路陥没事故をうけ、2025年2月26日に土木学会会員へ向けたメッセージを発信しました。

**下水道に起因する道路陥没事故をうけての土木学会会長から会員の皆さんへのメッセージ**

2025年1月28日に埼玉県八潮市で起きた中川流域下水道管に起因する道路陥没事故の発生以来、土木学会会長として、また一会員として、心を痛めています。未だ捜索中の方、現場での対応に心血を注いでおられる方、現場周辺で制約のある生活を強いられている方、120万人ともいう水の使用に影響を受けた方、排水処理に関わる方、点検等に急遽取り組む各地の方など、多くの皆さんにお見舞いを申し上げるとともに、まずは現地に落ち着いた日常が戻ることを願っています。

そして土木工学に関わる専門家からなる土木学会の会員も、このインフラの事故に注目し、何を、どうしていけばよいのかを思索していることと思います。

インフラのメンテナンスや長寿命化はかねてより重要な課題でしたが、その認識が社会に広がり、対応が加速したきっかけは、2012年12月の笹子トンネル天井板崩落事故でした。今回の道路陥没事故は、それに匹敵する衝撃を社会に与えたと受け止めています。

国土交通省が2013年を「社会資本メンテナンス元年」と位置付けて以降、実に多くの取り組みがなされ、土木学会も土木界の先陣を切ってインフラメンテナンスの重要性の発信と技術の促進に取り組んできました。しかし、今回の事故は起きてしまいました。このことを私たち会員はどのように受け止めたらいのでしょうか。

特に今回私たちは、目に見えない地下構造物の損傷、およびネットワークとしてあるライフラインが機能を喪失する事故が及ぼす影響の大きさや回復の難しさを目の当たりにし、さらにそのリスクはこれからもあり続けることを再認識しています。現在も続く事故への対応や構造物の健全性確保にとどまらず、より広い観点からの議論が必要と考えます。

- ①道路の地下には複数のライフラインというインフラが存在
- ②地下にあるライフラインは見えづらいが身近にネットワークとして存在
- ③上水道と下水道も地域の水循環の一部を担っている
- ④インフラの整備，利用，維持管理には費用がかかり，負担の仕組みがわかりづ  
らい
- ⑤歴史のなかで作られてきた構築環境(built environment)のなかで「私たち」は生  
きている

インフラを使う「私たち」が、  
インフラとともにどう生きていくかを  
「自分ごと」として考える社会を目指す

自分の領域を固定せず、  
直面する課題に一人ひとりが関心を持ち、  
**対話**していくことが、  
社会を、未来をより良い方向に進めていく  
**基礎体力**を育むと信じています。

2025/3/14 理事会

「インフラメンテナンス & マネジメントのためのオール  
土木学会とりぐみ検討会」設置承認

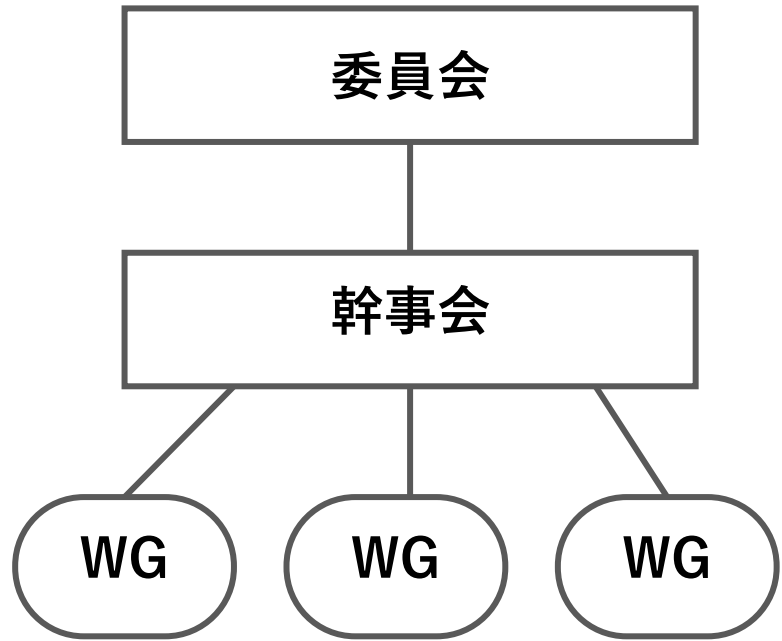
浅野 和香奈	日本大学 工学部 客員研究員
岩城 一郎	日本大学 工学部 教授
岩波 光保	東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授
岡久 宏史	日本下水道協会 理事長
小熊 久美子	東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授
恩田 雅也	中日本高速道路(株) 技術本部 高度技術推進部技術開発課 課長
加藤 隆	大成建設(株) 東京支店 土木部技術部技術室 室長
小池 淳司	神戸大学 大学院工学研究科市民工学専攻 教授
佐々木 葉	早稲田大学 理工学術院 教授
力石 真	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 准教授
中村 晋一郎	名古屋大学 大学院工学研究科土木工学専攻 准教授
久田 真	東北大学 大学院工学研究科 教授
平野 勝也	東北大学 災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 准教授
松田 曜子	京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 准教授
皆川 典久	鹿島建設(株) 建築設計本部建築設計統括グループ
宮城 大助	中央復建コンサルタンツ(株) 東京本社 構造系部門 トンネルグループ チームリーダー

通称

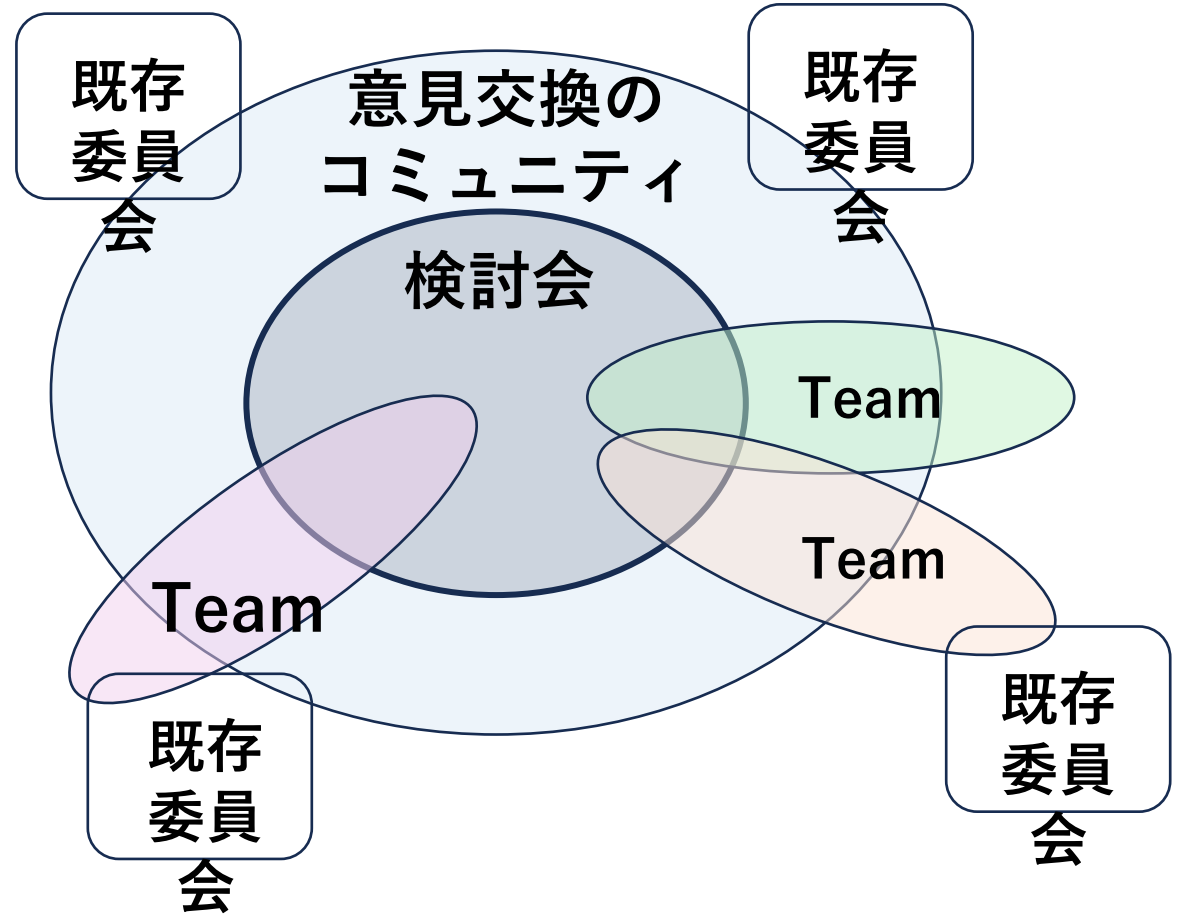
「インフラ自分ごと検討会」

+学会事務局  
三輪専務理事  
柳川事務局長  
二瓶さん

## 一般的な体制

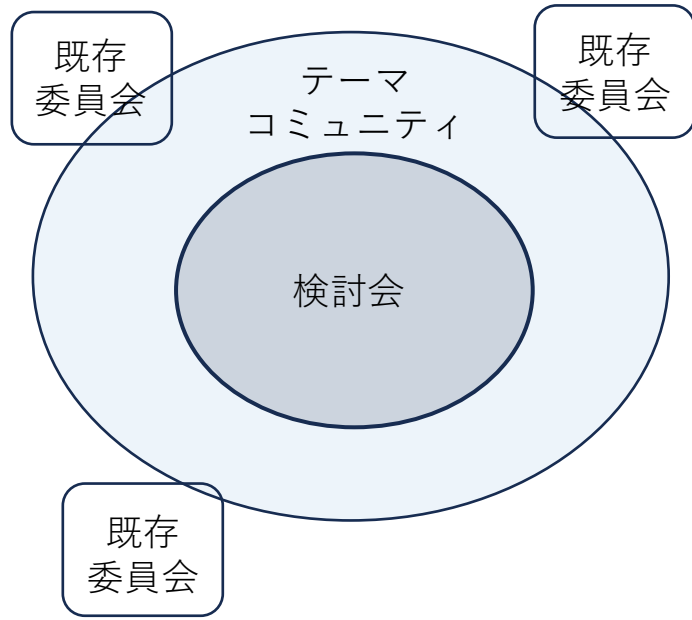


## 今回の体制イメージ



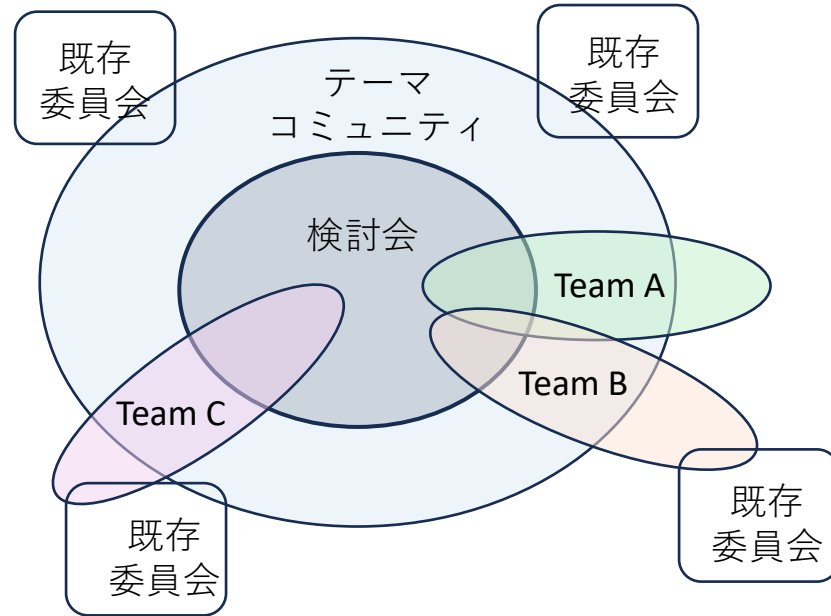
# 検討会立ち上げ当時の会議体のイメージ

Step 1



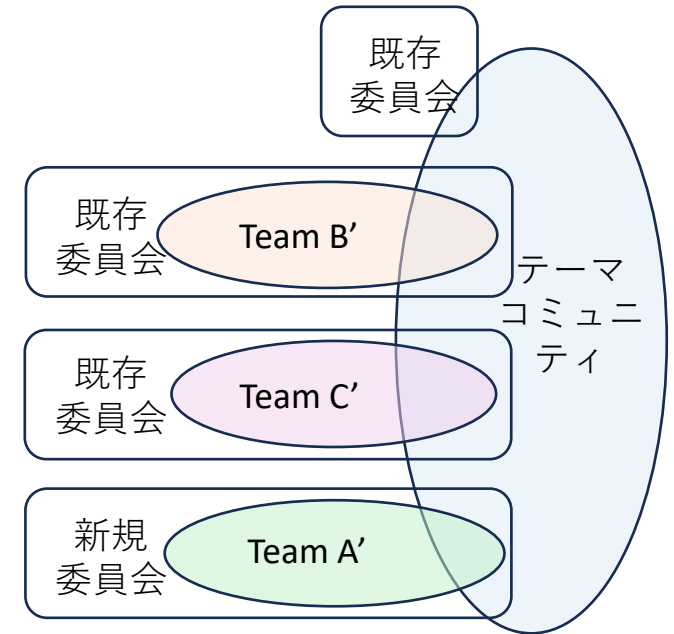
イシューに関連する多岐にわたる  
論点、課題、アプローチの可視化

Step 2



優先して取り組む事項の実践活動の  
体制の立ち上げ

Step 3



実践チームを適切な組織  
のもとに位置付け

インフラメンテナンス&マネジメントのためのオール土木学会とりぐみ検討会

2025.5.9 第1回

6.11第2回

第3・4・5・・・

## インフラメンテナンス&マネジメントのためのオール土木学会とりくみ検討会メニュー

- インフラメンテナンス&マネジメントのためのオール土木学会とりくみ検討会ホーム
- 開催報告
- 自分ごとラジオ

## 関連ページ

- 下水道に起因する道路陥没事故をうけての土木学会会長から会員の皆さんへのメッセージ (2025.2.26)

[ホーム](#)

## 開催報告

### 第9回 インフラ自分ごと検討会

投稿者：浅野 和香奈 投稿日時：木, 2026-01-15

2025年2月26日に発出した「下水道に起因として、表題の検討会を立ち上げました。」

[もっと読む](#)

### 第8回 インフラ自分ごと検討会

投稿者：浅野 和香奈 投稿日時：月, 2025-12-22

2025年2月26日に発出した「下水道に起因として、表題の検討会を立ち上げました。」

[もっと読む](#)

### 第7回 インフラ自分ごと検討会

投稿者：浅野 和香奈 投稿日時：木, 2025-11-20

2025年2月26日に発出した「下水道に起因として、表題の検討会を立ち上げました。」

[もっと読む](#)

## 会議議事録

### 第8回 インフラ自分ごと検討会

日付：2025年11月27日(木)

時刻：9:00-11:00

議事録作成者：浅野和香奈

## 出席者

葉、宮城、中島、加藤、浅野、二瓶、恩田、岩城、久田、平野、小池

## 議事録

### 佐々木座長からイントロダクション

土木計画学研究発表会・秋大会は企画提案型で実施され、小池氏が主催する「インフラ世界の基本問題」のセッションの中では **5 件の発表と議論**が行われた。ネパールの高速道路における交通問題、名古屋港周辺整備と輸送システム、英国と日本のインフラ意思決定プロセスの比較、本検討会の報告、そして世界のインフラ基本問題に関する論点整理についてである。**自由度の高い議論形態は構造系からすると新鮮**である一方、**週末開催は民間参加者にとって負担**が大きい。背景として、学生時代の研究を個人で発表する参加者もいるという実態も共有された。

### 議論（抜粋）

**中島**：八潮市交差点道路陥没事故の第三者委員会の第三次提言の素案において「自分ごと化」と同様の趣旨が前面に掲げられている。一方で、「自分ごと」と「委ねること」の適切なバランスは十分に整理されていない。秋大会ではコンサルタントが仕様遵守に留まり付加価値を生み出せていないように見受けられた。また、専門内部に閉じる傾向があった。**領域を越えて視野を広げる姿勢こそが、自分ごと化と実務の質向上の基盤になる。**

**小池**：インフラは個人の利便ではなく**社会的価値を基準に公共投資の可否が判断されるべき**。ブラジルファベールのケールカーは**貧困緩和に寄与する社会的価値が認められ公共整備が実現した**。上下水道等は公共が担っているが、「税金で行うからインフラである」と単純化しては議論が混乱する。**学会としてインフラの理念や社会的意味をより明確化すべきではないか。**

**葉**：近年「社会」を捉えることが難しくなっている。「情けは人のためならず」に象徴される社会的循環への信頼が失われ、「今だけ・ここだけ・自分だけ」意識が向かう傾向がある。NYCでの滞在経験から、アメリカ社会は議論・制度設

## インフラ自分ごと検討会 の 開催経緯

1	2025/5/9	検討会の目的と体制および進め方
2	2025/6/11	話題提供： <b>土屋信之</b> 「都市施設維持管理の構造的問題」
3	2025/7/4	話題提供： <b>松田曜子</b> 「ケアとしての避難→ケアとしての土木」 <b>小熊久美子</b> 「水インフラの自分ごとを考える」
4	2025/7/18	話題提供： <b>岡久宏史</b> 「今後の下水道を考える～「自分ごと」として」 <b>久田真</b> 「どうする？どうなる？私たちの暮らしと建設の未来」
5	2025/7/25	話題提供： <b>カ石真</b> 「都市・交通に係るインフラ自分ごと問題」 <b>小池淳司</b> 「インフラから見る社会」
6	2025/8/8	自由議論と方向性
7	2025/10/20	「 <b>夏休みの宿題</b> 」のまとめをもとに自由議論
8	2025/11/27	自由議論ののち、今後の活動の具体化
9	2025/12/19	活動の具体化の検討

# 「夏休みの宿題」

- お題「インフラを自分ごととして考えるには」
- 文字数：800-1000文字程度
- 「自分ごと」は、作文する人自身、土木学会会員、土木技術者、市民と広く考えていただいて構いません。

→ 15名からの提出

# 「インフラ」とは？

層	概要	代表的論者	特徴的内容
① 物的基盤としてのインフラ	構造物や施設としての物理的対象。維持管理・安全性・寿命などに焦点。	久田・恩田・宮城・皆川	物理的存在としての責任・安全・文化的持続性を問い直す。
② 社会制度としてのインフラ	制度や行政運営を含む社会的システム。	力石・小池・平野・岩城	制度の硬直化、縦割り、任期制の問題。公共性と責任の再設計。
③ 生活世界の基盤としてのインフラ	日常生活に埋め込まれた基盤として捉える。	松田・浅野・小熊・加藤	「あって当たり前」を乗り越える体験的・協働的理解。
④ 文化的・倫理的基盤としてのインフラ	社会の価値観や想像力を支える装置。	中村・佐々木・中島	「人による、人のためのインフラ」。文化・物語・倫理の視点。

# 「自分ごと」とは？

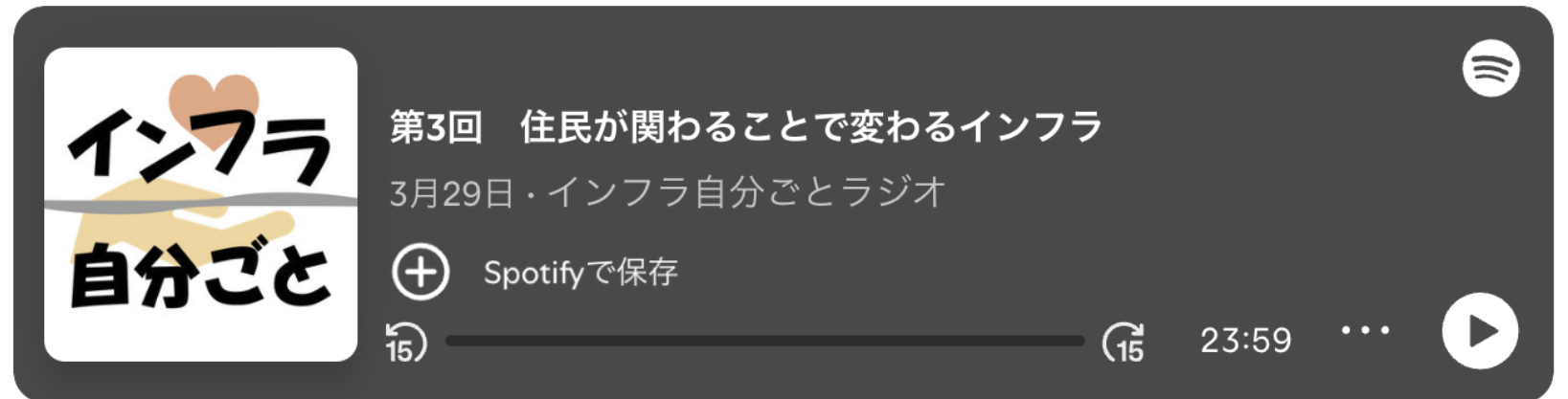
型	定義	代表的論者	キーワード・論点
A. 行為的 自分ごと	行動・参加・応答による関与。	松田・浅野・加藤	「鐘を鳴らす側になる」「現場に行く」。身体的・実践的行為を通じて関係を取り戻す。
B. 認知的 自分ごと	想像力と理解の更新を通じた再認識。	中島・佐々木・岩城	データや制度を超え、物語や想像力で“他人事”を自分の文脈に引き寄せる。
C. 倫理的 自分ごと	責任・贈与・倫理としての関与。	力石・小池・中村・皆川	社会的分業が生む無責任構造を乗り越え、支え合う倫理的態度を重視。
D. 構造的 自分ごと	制度や組織を変革する実践。	平野・恩田・宮城・久田	縦割り・短期任期・責任分断を超え、制度内の意識改革を志向。

2025/11/22 土木計画学研究発表会

「インフラ世界の基本問題セッション」にて、検討会活動の発表

2026/2/25 ポッドキャスト「インフラ自分ごとラジオ」第0回

4/16までに5回公開



2026/4/16 インフラ「自分ごと」シンポジウム開催

# 下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会

委員会設置[2025.2.21]

第1次提言 [2025.3.17]

「全国特別重点調査の実地について」提言

→全国の下水道管理者に調査要請

国土交通省での取り組み

第2次提言[2025.5.28]

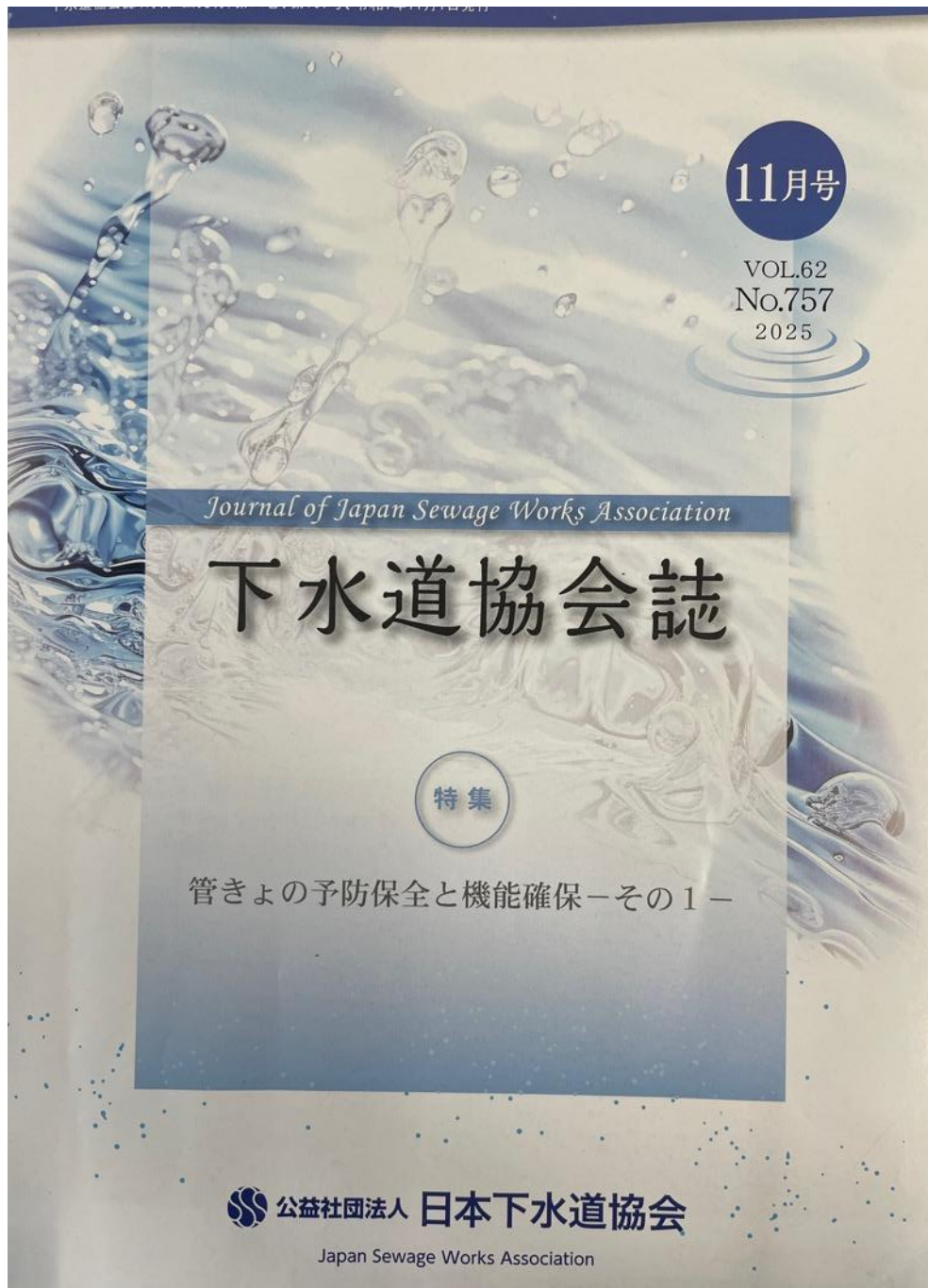
「国民とともに守る基礎インフラ上下水道のあり方～安全性確保を最優先する管路マネジメントの実現に向けて～」

→第1次国土強靱化実施中期計画に反映

第3次提言[2025.12.1]

「信頼されるインフラのためのマネジメントの戦略的転換」

→下水道法一部改正[2026.3.27閣議決定]



11月号

VOL.62  
No.757  
2025

Journal of Japan Sewage Works Association

# 下水道協会誌

特集

管きよの予防保全と機能確保—その1—

公益社団法人 日本下水道協会

Japan Sewage Works Association



# 下水道協会誌

Journal of Japan Sewage Works Association

2025年11月/Vol.62/No.757



下水道HP・  
会員サイトで  
電子版公開中!



## 目次 -CONTENTS-

### フォーカス

何かを「自分ごと」とするために 佐々木 葉 ..... 2

### 特集 管きよの予防保全と機能確保～適切な維持管理で良好な市民サービス～ -その1-

下水道管路の総延長は49万Kmを超えるまでに拡大する一方で老朽化も進行しており、布設後50年を経過する古い管路が今後加速的に増加することになります。本年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故は大きな社会問題となり、現在全国で特別重点調査が進められています。下水道の機能を将来に繋げるためには施設の予防保全が不可欠であり、そのための新たな取組みや技術開発が求められています。そこで今号と12月号では、八潮市道路陥没事故への対応とともに管路の老朽化対策についての最新情報をお届けします。

#### ■総論

八潮市の事故を起点に下水道改革を  
- 2025年を下水道マネジメント元年に - 政策研究大学院大学 家田 仁 ..... 4

■提言 インフラ保全と事業経営～第1次国土強靱化実施中期計画～  
国土強靱化実施中期計画におけるインフラの老朽化対策 京都大学 小林 潔司 ..... 6

経営の視点からの国土強靱化中期計画とインフラの老朽化対策 近畿大学 浦上 拓也 ..... 11

■空洞調査と道路陥没～下水道管腐食メカニズム～  
路面下空洞対策と空洞ポテンシャルマップ 東京大学生産技術研究所 桑野 玲子 ..... 15

下水道管路に起因する道路陥没の発生傾向  
国土技術政策総合研究所 下水道研究室 高橋 礼雅 ..... 18

下水道管路内におけるコンクリートの微生物腐食のメカニズムについて  
(一社)日本コンクリート防食協会 三品 文雄 ..... 24

■大規模な道路陥没事故発生後の対応  
下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策の方向性について  
～安全性確保を最優先する管路マネジメントの実現に向けて～

国土交通省 上下水道審議官グループ 外園 明成、中野 弘基 ..... 28

八潮市道路陥没事故における関東地方整備局の対応 関東地方整備局 河川部 三好 健次 ..... 34

八潮市道路陥没事故における国土技術政策総合研究所の対応  
国土技術政策総合研究所 下水道研究室 安田 将広 ..... 39

八潮市道路陥没事故における管路協の緊急初動対応について  
(株)鴻池組 土木部 (前日本下水道管路管理業協会) 井坂 昌博 ..... 44

# 本日のシンポジウムとこれから

「インフラメンテナンス&マネジメントのための  
オール土木学会とりくみ」のために

- 意識化（自分ごと化）の主体の拡大
- 対象（インフラ）の広がり×観点（専門性・モード）の広がり
- 思考回路自体の再認識とそこから的一步を始めよう！